

～愛すべき職場～手術室編

今回の愛すべき職場は「手術室(OP室)」を紹介したいと思います。

当院のOP室は2階奥に位置し、前回紹介しました「中央材料室(中材)」の隣にあります。

年間の手術件数は74件あり(平成24年実績、ちなみに平成25年は8/15現在71件で大幅に増えています)、特に南有紀子医師が常勤として来られてからは、OP件数が非常に多くなっております。

やはり大腸肛門の手術(鼠径ヘルニア、痔瘻、ジオン注射硬化療法など)や、腹腔鏡下のOPが中心となっています。(腹腔鏡下のOPは平成24年12件、本年は8/15現在で11件)基本的には木曜日と土曜日の午後が手術日となっております。OP室には医師だけでなく(兼務ですが)熟練技術を携えた看護師が勤務していて、患者さんやご家族にとっても非常に心強いです。術後管理も充実しており、3階詰所横の重傷者室にて管理し(痔瘻やヘルニアなどの術後は大部屋・個室にて)万全の態勢で患者さんをお迎えしております。

このような職場に一度来て???

もし入院手術になったときには頑張ります!!!



新入職員紹介

■西田 拓平 (ニシダ タクヘイ)
理学療法士 H24年11月01日入職
■内藤 浩史 (ナイトウ ヒロシ)
調理師 H24年12月01日入職
■佐々木 万里子 (ササキ マリコ)
看護助手 H25年02月16日入職
■田中 郁美 (タナカ イクミ)
看護師 H25年04月01日入職
■熊川 世界 (クマガワ セカイ)
看護師 H25年04月01日入職
■鈴木 彩子 (スズキ アヤコ)
看護師 H25年04月01日入職



看護師さん 大募集 !!

当院では地域に密着した医療をめざし、一緒に働くスタッフを募集中です。未経験の方、ブランクのある方も教育カリキュラムに従い指導いたしますので安心下さい。看護師は2交代制です。日勤のみの方など相談に応じます。24時間託児所も完備しています。お気軽にお問い合わせ下さい。

病気の話

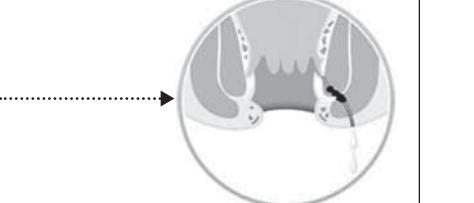
医師 南 有紀子

痔について話しましょう!



負担がかかってきた、肛門の傷です。特に若い女性に多い疾患です。慢性化すると肛門狭窄、肛門ポリープにもつながります。治療の基本は排便コントロールと外用薬の塗布ですが、慢性化した場合には切除手術や内括約筋切開術、肛門狭窄に対しては皮膚弁移動手術も必要になります。早いうちですと、軟膏で簡単に治癒しますので、早めに受診されることをお勧めします。

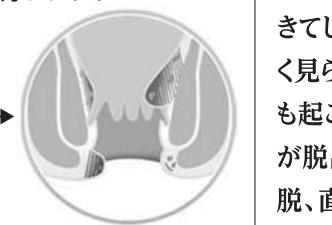
痔瘻(痔ろう)



痔は、ごくありふれた病気です。しかしながら、なかなか受診するまでに勇気がいる病気であるということも事実です。特に女性の患者さんはその傾向が強いのではないかでしょうか?思いきって病院へ足を運ぶことができずに症状を悪化させている方も多いと思います。女性には、妊娠・出産という大きなイベントがあります。妊娠・出産によって、痔は確実に悪化します。また、痔だと思い込んでいた血便が、実は大腸癌や潰瘍性大腸炎などの急いで治療が必要な大腸の病気が原因であったということも、珍しいことではありません。まず一番大事なことは、排便時に血がつく、血便が出るなどという心当たりのある患者さんは、大腸内視鏡検査や注腸検査などで悪性疾患などがないかということを確認することです。

一口に痔といいますが、実際には痔核(いぼ痔)、裂肛(切れ痔)、痔瘻(痔ろう)と3種類の疾患があり、男女別や年代別でもどの痔が出てくるか。これ以外にも、直腸脱という病気も、よく痔と間違われる病気のひとつです。それぞれの疾患について、簡単に症状、治療法などを説明します。

痔核(いぼ痔)



直腸脱は正確には痔ではありませんが、痔だということで受診される患者さんでこの病気の方をよくみかけます。直腸が肛門から脱出してしまった病気で、高齢の女性に多く見られますが、男性や若年の方にも起こりうる病気です。加齢などにより骨盤底筋が弱くなり直腸が脱してくる病気ですが、直腸脱のみならず、子宮脱や膀胱脱、直腸癌などの病気を合併することもあります。数cmの脱出からひどい方では数十cmも脱出することもあり、症状としては粘液で下着が汚れる、おしりに何か挟まっている歩きにくいなどです。

治療の基本は手術ですが、肛門から行う手術(経肛門的手術)や、おなかから直腸をつり上げる手術(経腹手術)があります。当院では痔核の進行度にあわせて、場合によっては複数の治療法を組み合わせることによって、それぞれの患者さんに満足していただけるような手術を心がけています。痔核の根治手術を施行した場合の平均入院期間は5日間ですが、それぞれの患者さんの状況を考慮して手術法や入院日数を決めていますので、まずはご相談ください。

では、痔にならないためにはどのようなことに気をつけなければいいのでしょうか?まずは、便通のコントロールをしっかりとすることで、硬い便が続けば裂肛になりやすくなりますし、便秘で長時間トイレでいきむ習慣のある人は痔核になりやすくなります。

まずはみなさん、おしりに何かのトラブルがあれば、思い切って私の外来を受診してみて下さい!便秘や下痢などの排便コントロールに関しても相談してもらえば、いろんな方法でアドバイスはできると思います。長年悩んできた患者さんも、案外すっと解決策がみつかることもあると思いますよ。



FUKUSHIMA INFORMATION 2013 AUTUMN

福島インフォメーション



地域に密着した良心的な医療を提供する事を使命としています。

■発行 医療法人永寿会
福島病院
〒963-0012 大阪府守口市千林2-4-22
TEL:06-6953-2940(代)
FAX:06-6953-2948
ホームページアドレス:
<http://www.fukushima-hosp.or.jp>
■発行日 平成25年 10月

理 念

24時間いつでも誰でも気軽に利用できる、

地域に密着したコンビニ型病院(皆様病院)をめざす。

基 本 方 針

正確な診断に基づいて最適な医療機関での治療をめざす。

幅広い患者のニーズに細かく対応して、

患者だけでなく従業員自身も安心して知人や身内を紹介できる病院をめざす。

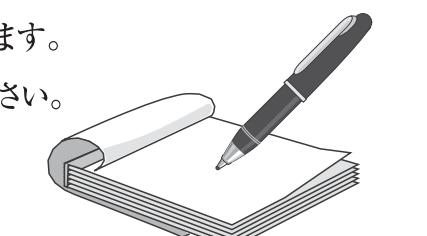
【広報係より】

本年初めての広報誌を発刊することになりました。
愛読者のみなさま、お待たせしました。

今回は『秋号』としてお届けいたします。

内容は以前よりページ数も増え、ボリューム満点の内容になっております。

是非、お楽しみ下さい。



診療科目:

外科・消化器外科・肛門外科・整形外科・
内科・糖尿病内科・消化器内科・
脳神経内科・人工透析内科・
リハビリテーション科・
放射線科・
麻酔科



新卒職員紹介



田中郁美(タナカ イクミ)看護師

香里ヶ丘看護専門学校卒業
▶大阪府出身
4月から看護師として働くことになりました。まだ未熟者ですが笑顔で頑張りますので宜しくお願いします。



鈴木彩子(スズキ アヤコ)看護師

大阪医專卒業
▶大阪府出身
今年の4月から看護師として働くことになりました。(患者さんから信頼され)一人前の仕事ができる看護師をめざし頑張ります。



永峯茉保(ナガミネ マホ)看護師

大阪府医師会看護専門学校卒業
▶長崎県出身
看護師になることができ嬉しさと不安になりました。しかし笑顔を忘れず一生懸命頑張ります。



日野宏美(ヒノ ヒロミ)看護師

大阪保健福祉専門学校卒業
▶大阪府出身
4月から看護師として勤務することになりました。まだまだご迷惑をおかけしますが精一杯頑張ります。



熊川世界(クマガワ セイイチ)看護師

大阪市立大学医学部看護学科卒業
▶長崎県出身
今年の4月から看護師として働くことになりました。未熟者でご迷惑をおかけすると思いますが、笑顔で頑張りますので皆さん気軽にお声をかけて下さい。



浜里あづさ(ハマザト アズサ)看護師

行岡医療技術専門学校卒業
▶長崎県出身
積極的に仕事に取り組み多くのことを吸収して学んでいきたいです。一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。

日本人の食塩摂取量

食塩を取りすぎると、血圧を上げることは多くの研究から指摘されています。逆に減塩すると、心臓の病気(左心室肥大)やたんぱく尿の程度を軽くすること、動脈の柔軟性を高めること、降圧薬の効果を高めることなどの良い点がたくさんあります。

日本人成人の食塩摂取量は男性11.9g、女性10.1gです(国民栄養調査22年)。これは小さじすりきり2杯強です。日本は世界の中でも最も1日の平均食塩摂取量が多い国です。ちなみにヨーロッパで5~6g、アメリカでは8~10g、アフリカでは3g以下の地域・国も珍しくありません。なぜ日本は食塩の摂取量が多いのでしょうか?右記の図の通り、



和食は塩分が多いことはわかりますね。福島病院の病院食はできるだけおいしい減塩の和食を提供できるよう、工夫しています。次回は減塩の様々な工夫を紹介します。

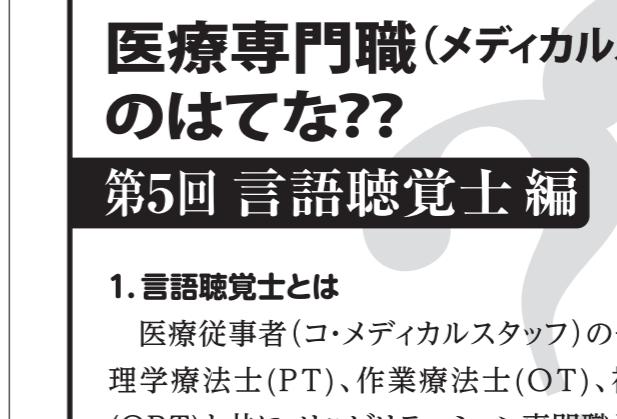
福島病院 栄養科



看護助手 堤 洋子

福島病院に勤務して早や10年が過ぎました。この10年皆様からご指導やあたたかい言葉をいただき、私も少し成長できました気がします。看護助手の仕事は「ヘルパーさん」といわれるだけあって看護師さんや他のスタッフをヘルプする仕事です。やってみて本当に大変な仕事を感じております。が…私には適職だと自負しております。(笑)

これからもこの仕事を私自身が楽しみつつも皆様のお役に立てるように頑張ります。宜しくお願いします。



医療専門職(メディカルスタッフ)のはてな??

第5回 言語聴覚士編

1. 言語聴覚士とは

医療従事者(コ・メディカルスタッフ)の一員であり、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、視能訓練士(ORT)と共に、リハビリテーション専門職と称されるうちの一つで、「ST(Speech-Language-Hearing Therapist)」と略称で呼ばれることもあります。

言語聴覚士法(1997年制定)に基づき、「厚生労働大臣の免許を受けて、言語聴覚士の名称を用いて、音声機能、言語機能又は聴覚に障害のある者についてその機能の維持向上を図るため、言語訓練その他の訓練、これに必要な検査及び助言、指導その他の援助を行うことを業とする者」とされています。

2. 主な仕事内容

「言語」という名の通り、ことばによるコミュニケーションに問題のある方に、専門的サービスを提供し、自分らしい生活が送れるよう支援します。

また、ことばを話す時には口まわりを動かすことから、食べる機能の障害=「嚥下障害」にも対応します。

言語障害	
ことばが出てこない、呂律が回らない、話が理解できない、文字が読めないなど	
音声障害	
声が出にくい・かかれるなど	
嚥下障害	
上手に噛めない、うまく飲み込めない、飲み込むとむせるなど	

こうしたことについて、なぜそうなっているのか検査・評価をし、ひとりひとりの状態に合った訓練、指導、助言、その他の援助を行います。

それでは具体的にどのようなことをしているのか、一例をご紹介しましょう。

当院で最も多いのは「嚥下障害」の患者さんです。脳卒中の後遺症で食べ物が喉を通らなくなったり、体調不良で絶食になった後で食事を再開したらむせるようになったなど、食べ物が“口⇒食道⇒胃”ではなく、“口⇒気管⇒肺”に入ったり(=誤嚥と言います)、そのことが原因で肺炎を起こす(=誤嚥性肺炎)ことがあります。体調が落ちていたところで、言語聴覚士のリハビリが始まります。

人の話を聞きたい、自分の思いを伝えたい、おいしく食べたい…だれでもごく自然に行っていることができなくなったら、ご本人も周りの方も本当につらいものです。機能訓練はもちろん、そのお気持ちもサポートしながら、「一緒に」リハビリテーションをして参ります。よろしくお願いいたします。

BCチェックマークとは?

BCチェックマーク(Blood Circulation checker)

末梢血液循環の血流の機能状態を測定・評価する検査です。指先で健康度/動脈硬化度/血管年齢などを分かります。

センサー部に指先を入れて早い人で約20秒。末梢血管の健康度がわかります。生活習慣病は血管の老化から始まるとも言われ、食事や運動で血管を若返らせる事で、健やかな毎日をお過ごしいただくのに役立ちます。BCチェックマークは動脈硬化とも相関があり、容易に測定できる健康チェックの新しい指標として注目を集めています。

測定・評価は体表の外から行われ、人体の内側に接触することがないため、操作性、安全性に優れています。

BCチェックマークの操作法

(1)年齢・性別の登録

血液循環の機能は年齢によって変化します。BCチェックマークの測定結果に関するコメントが必要な場合には、年齢・性別の登録を行ってください。年齢・性別の登録をしなくても測定は可能ですが、年齢に応じたコメントが表示されません。

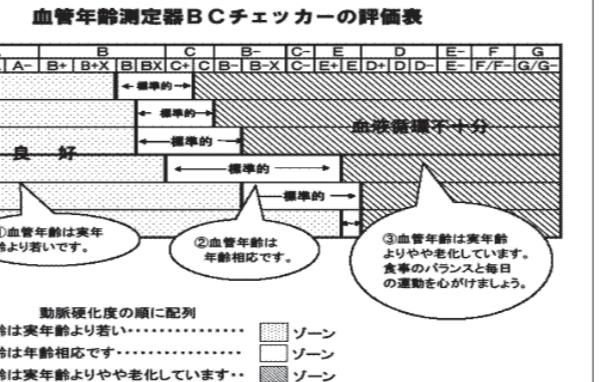
(2)測定の開始と終了

被測定者が安静である必要があります。被測定者が移動等で身体を動かした後であれば、測定場所の椅子に座った後、数分間安静にした後に測定を行って下さい。被測定者は用意されている椅子に深く座り、BCチェックマークが置かれている机の端まで身を寄せます。右腕の肘から指の先まで、机の上にゆったり乗せる姿勢で測定を行います。測定は20秒程度で終了します。

波形パターンは(A+)~(G-)の22種類があり、(A+)に近いほど末梢血液循環が良く、(G-)に近いほど末梢血液循環は悪くなっています。波形パターンとその評価は右表のようになっています。

検査中は体を動かさないように、乳幼児では睡眠薬で眠らせてから検査を行なうこともあります。

波形パターン	末梢血液循環の評価
A	血液循環のかなり悪い状態を示している。
B	血液循環が不十分になっていく経過の中で見られるが、まだ良い状態。ただし、20歳代でこのような波形を示す場合は、若干注意が必要。
C	血液循環が不十分になってきた状態を示し、特に30歳代までの人が、この波形を示す場合は要注意。
D.E.F.G	血液循環のかなり悪い状態を示している。



BCチェックマークの使用例

BCチェックマークは末梢血液循環の血流の機能状態を測定することから、次のような場面に使用されています。

(1)中高年の血液循環からみた健康状況のチェック

(企業の社員検診、保健所の住民検診)

(2)運動による血液循環機能向上の確認

(企業、自治体の健康作りサークルにおける測定)

(3)医療現場での使用

(糖尿病等における末梢血液循環の投薬効果確認)

(4)血液循環機能の表示により健康への関心を啓蒙

(健康食品への啓蒙、健康指導のツール)

●主な病名例

糖尿病、動脈硬化症、動脈閉鎖性疾患、抹消循環障害、脳梗塞、心筋梗塞、狭心症、高血圧、異常妊娠、妊娠中毒症など。

検査中は体を動かさないように、乳幼児では睡眠薬で眠らせてから検査を行なうこともあります。